

安全安心技術が支える デジタル社会

Digital Society Supported by Safety and Security Technologies (DS4T)

デジタル社会のもたらす恩恵や脅威などは、医療、教育、産業界など各種業界にかかわらず議論できるものもあるだろう。このようなデジタル社会がもたらす各種システムの恩恵を共有する一方、デジタル社会の脅威とそれらを解決する技術・枠組みの必要性を明確にすることが必要である。絶対なる安全はないという前提において、恩恵と脅威のトレードオフを明確にすることでデジタル社会システムの浸透のためにすべきことを明らかにする。

2022. **3.14** 月

開始時間: 13:00~18:00

開催場所: オンライン開催

参加費: 無料(事前に申し込みが必要です)

参加申込: https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_6WuA1ISMQhy8KpLBG_t3RA

開催概要: <http://www.scj.go.jp/ja/event/2022/320-s-0314.html>

事前アンケート: <https://forms.gle/5VR7TsGbyzJcVjQGA>

プログラム

13:00 開会の挨拶

宮地 充子(日本学術会議第三部会員、大阪大学大学院工学研究科教授、北陸先端科学技術大学院大学教授)

13:15-16:10 講演

司会: 岩村 誠(日本学術会議連携会員、日本電信電話株式会社特別研究員)

13:15-13:55「安全安心技術が支えるデジタル社会の制度設計」

須藤 修(日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授、中央大学国際情報学部教授)

13:55-14:35「企業におけるDX推進事例と政府のサイバーセキュリティ戦略」

野原 佐和子(株式会社イプシ・マーケティング研究所代表取締役社長)

14:35-14:50(休憩)

14:50-15:30「地方自治体における安全安心が支えるデジタル社会の取組について」

馬奈木 俊介(日本学術会議第一部会員、九州大学大学院工学研究科教授)

15:30-16:10「デンマークにおける安全安心技術が支えるデジタル社会設計について」

安岡 実佳(Roskilde University准教授、北欧研究所代表)

16:10-17:40 パネルディスカッション

コーディネーター: 須藤 修

パネラー:

野原 佐和子、馬奈木 俊介、安岡 実佳、楠 正憲(デジタル庁統括官)、後藤 厚宏(情報セキュリティ大学大学院学長)、

松浦 幹太(日本学術会議連携会員、東京大学生産技術研究所教授)

17:40-18:00 総括

高田 広章(日本学術会議第三部会員、名古屋大学未来社会創造機構教授)

18:00 閉会